

令和4年度 農山漁村振興交付金(地域活性化対策) 事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和4年度に実施された「農山漁村振興交付金(地域活性化対策)」の事業について、「農山漁村振興交付金(地域活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2262号農林水産省農村振興局長通知)第11の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和4年度に交付金事業を実施した東北農政局管内の7地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。

その結果、優良と認められる地区が6地区、総合的に低調と認められる地区が1地区との評価結果となった。

総合的に低調と認められる地区に対しては、重点的な指導、助言等を行う。

また、今年度の評価対象ではないが昨年度に重点指導の対象となっていた2地区について、重点指導の結果を評価した。その結果、来年度も引き続き重点的な指導、助言等を行う地区は1地区であった。

3. 各地区の評価結果

9件(うち2地区は、今年度評価対象ではないが昨年度重点指導となっていた地区)

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント	
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8			
東北	福島県	矢祭町	やまつり・ひと・みらいづくり協議会		●	●	■						A	買い物支援事業の広がりにより、買い物難民の課題解決、地元商店や直売所の売上増、タクシー事業者の売上増にまで寄与しており、町に大きく貢献しているといえる。目標としていた登録者数、売上目標、実施回数、情報発信も達成できており、女性グループの商品開発も積極的に行っているなど、前向きな姿勢がみられることも高評価。以上のことから総合判断をAとした。
東北	岩手県	北上市	更木活性化協議会			●	●	□					A	新型コロナウイルスの感染拡大により、前年度実施できなかった夏まつりを開催したほか、中止した年の代替イベントも開催するなど、計画以上の取組を実施しており、目標もほぼ達成されている。また、事業実施体制も計画どおり整備されていることから、総合的な評価はAとした。 今後は特産品開発への住民参加も促し、さらなる地域の活性化につなげていただきたい。
東北	岩手県	陸前高田市	北限のゆず地域活性化協議会			●	●	□					A	全ての目標を達成しており総合評価をAとした。取組を実施する中で加工原料用ゆずの販売価格が低いという課題を見出し改善したことで経済効果が目標を大きく上回っている点や、多くの交流人口及び関係人口を創出している点が特に評価できる。需要があることを、今後はゆずの栽培技術向上と生産量拡大などにつなげていっていただきたい。

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント	
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8			
東北	岩手県	奥州市	いさわ農村活性化推進協議会				●	○	□				A	計画された取組は全て実施され、目標を上回る実績となっており総合評価をAとした。特に、地域の活動計画については、専門家を交えながらワークショップを複数実施し、若者を中心とするネットワークが形成されるとともに、地域課題として交流の場形成と農事組合法人の経営力の二点を抽出できたことは高く評価できる。今後はワークショップを通じて策定された計画に沿った事業の推進が期待される。
東北	宮城県	大郷町	大郷粕川を元気にする協議会				●	○	□				A	全ての目標を達成しており、特に、情報発信をはじめとする協議会の取組が奏功し、新規就農者の雇用者数に目標を大きく上回っており総合評価はAとした。 次年度は、参加者数が低調だった集落イベント及びコミュニティ検討会の取組に注力されたい。
東北	山形県	西川町	西川町山菜王国推進協議会				● ▼	○	□				C	計画された実施体制は構築され、取組は全て実施されている。しかし、目標設定した移住者の実績がゼロであったため、実績評価を勘案し、総合評価はCとした。令和4年度の追加公募による採択で着手後間もない事業であるため、今後に期待したい。
東北	山形県	朝日町	あさひりんごの郷協議会				●	○	□				A	関係機関と連携を密に事業に取り組んでおり、都市からの移住・就農者数は目標を大きく上回り、前倒しで達成している項目もあることから総合評価をAとした。とりわけ、目標数値設定がなされていない【都市地域企業等との連携件数】や【6次産業化ワークショップ参加数】などでは一定の成果をあげていることも特筆される。一方で、評価指標の目標項目については、都市からの移住・就農に関する応募者数や体験研修参加者数をはじめ、技術普及講習会など、目標に達していない項目もあることから、次年度に向けて取組を強化してほしい。
東北	山形県	鶴岡市	鶴岡食文化創造都市推進協議会	●	●	■ ▼	▲ ▼	△					C	新型コロナウイルスの影響で当初計画した農業体験ツアーが実施できなかったため、地域資源を題材とした鶴岡の食と食文化を体験・体感するツアーを連携企業と協力して実施している。代替ツアーを実施したことにより、全ての目標値において改善がみられるが、経済効果の目標達成状況は低調にとどまっている。 そのため、実績評価がCとなるため、総合評価もCとした。
東北	山形県	鶴岡市	福栄活性化助け合い協議会	●	●	■ ▼							B	自主財源や鶴岡市の補助金を使って取組は継続されている。その結果、前年度実績が低調であった目標値の達成度に改善が見られるため、総合評価はBとした。 ただし、事業の実施体制に関しては点検が必要である。養蚕については関係団体との強力な連携が見られる反面、買い物支援や福祉に関する鶴岡市や6自治会との連携についてはより効果的な連携が求められる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)
 ハード対策 ☆・・交付対象年度(計画) ★・・交付対象年度(実施済) ◇・・目標年度(計画) ◆・・目標年度(実施済)
 重点指導 ▼・・重点指導(通知) △・・重点指導(結果報告予定) ▲・・重点指導(結果報告)

(注2) 「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調 評価対象外・・評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

「農山漁村振興交付金(地域活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2262号農林水産省農村振興局長通知)第11の2の規定に基づき、第三者機関である「東北農政局農山漁村振興交付金評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長:中村 勝則(秋田県立大学准教授)

委員:横田 純子(特定非営利活動法人 素材広場 理事長)、渡辺 理絵(山形大学准教授)

【令和5年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会

- 1 日 時 :令和5年7月13日(木) 10:00~11:00
- 2 場 所 :WEB方式
- 3 議事概要
(1)事業評価の考え方について
(2)評価対象地区について
- 4 主な意見
事業実施主体から提出された書面により評価を行うのか。現地調査は行わないのか。

第2回評価委員会

- 1 日 時 :令和5年8月17日(木) 13:30~15:30
- 2 場 所 :仙台合同庁舎A棟1階会議室
- 3 議事概要
(1)評価結果について
(2)評価結果の活用について
- 4 主な意見
・現地調査実施の際、地区の選定に当たっては委員とも調整してほしい。
・C評価の地区について、改善が見られない場合は指導をし続けるのか。ペナルティはないのか。